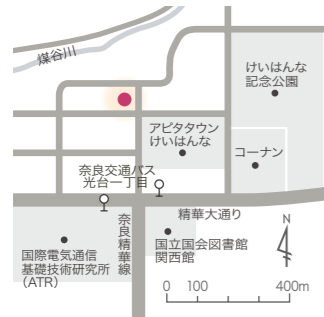




サンシード株式会社

本社: 京都府相楽郡精華町光台1-2-9
 TEL: 0774-39-8201
<https://www.sunpla.co.jp/>
 従業員数: 129名
 設立: 1957年4月
 主な事業内容: 食品包装容器を中心に医療機器容器、検査容器などディスプレイ(使い捨て)容器の研究開発、および製造。



JOB INFORMATION

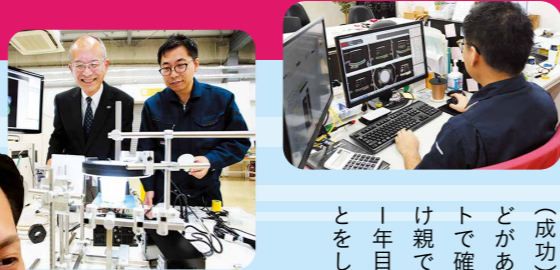
正社員募集

「『おっちゃんとおばちゃん』の求人広告を見ての応募です」とお伝えください。

2023年3月 第2新卒以上
 大学卒業見込 歓迎

※2023年3月卒業見込みの方の採用につきましては、2022年6月1日以降に選考解禁します。

- (1) 技術開発職(技術部)【内容】生産状況の可視化共有化システムの独自開発から当社の製造工程全体を企画・設計にまで携わる仕事です。
 - (2) 生産技術職(製造部 製造課)【内容】最高品質の製品を世界最速のスピードで安定した生産を維持するための条件設定・メンテナンスが主な仕事です。
 - (3) 開発営業職(営業部)【内容】主に日本国内の大手食品業界に対し、開発・販売・マーケティング・企画など、様々な発想で営業を行います。
- 【応募資格】2023年3月に高校・高専・大学・大学院を卒業見込みの方、および既卒者。
 【給与】高卒/高専卒: 215,000円、大学卒: 225,000円、大学院卒: 230,000円(2020年初任給実績)
 【勤務地】〒619-0237 京都府相楽郡精華町光台一丁目2番地9
 【勤務時間】8:00~17:00(実働8時間)
 【休日】週休2日制(土・日)、祝日、ゴールデンウィーク、年末年始、有給休暇、慶弔休暇 年間休日110日
 【諸手当・福利厚生】住宅手当(1万5000円)、扶養手当(配偶者6,000円、子ども一人あたり3,000円)、役職手当(1万5000円~20万円)、通勤交通費(上限5万円まで)、時間外勤務手当、借上げ住宅制度、退職金制度、奨学金返済補助制度
 【保険】健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険
 【その他】第二新卒、中途採用も随時募集中!
 【連絡先】recruit@sunpla.co.jp
 ☎0774-39-8201(担当:長谷川・垣見)



1年目から大きなプロジェクトを任せる社風は、聞いていた通りでした。

営業部営業開発課 天野楓也さん

1997年大阪府高槻市生まれ。立命館大学経営学部卒業。学生時代は積極的にアルバイトで売り上げを伸ばす、天性の営業マン。2021年4月入社。

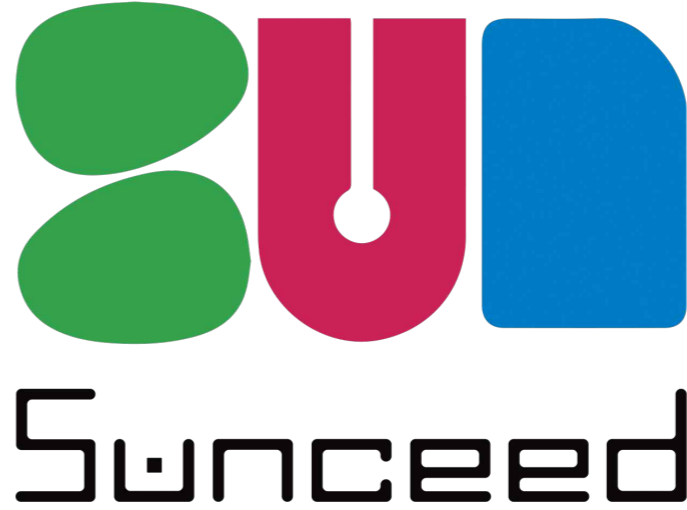
「小さなチャレンジこそが次のチャレンジを生み、ひいては会社の成長や社会の変革につながる」、社名は変わってもこの指針は変わらない。天野さんのような若手が挑戦し続けられる環境こそが、未来への布石なのだ。

「ド」には『前進』という意味があります。派生した英単語に succeed (成功) や proceed (始める) などがあり、他で使われていないかネットで確認しました」と話すのは、名付け親である天野楓也さん。なんと入社1年目の新人だ。「まだ会社や業界のことをしっかり把握できていない中、長

年、続いてきた社名が自分のような新人の案で変わるのかと驚きました」。天野さんは、学生時代、大学でマーケティングを専攻し、アルバイトではホテルでアルバイトをしていた。売り方次第で商品がどんどん売れていくおもしろさに魅了され、就職活動は食品や飲料業界を中心に探した。そんな中、

辿り着いたのが同社だった。

「入社前、1年目から大きなプロジェクトを任せられると聞いて半信半疑でしたが、入社後すぐ、本当に大きな仕事を任せられました。大手企業のパッケージの改善提案や新規開拓営業などを一から担い、有言実行の会社だと実感しました」。



プラスチック製品の開発・製造を手がけるサンプラスチックス(株)が、2022年2月、社名を変更した。社内公募で決まった新しい名前は「サンシード」。名付けたのは、なんと入社1年目の社員だという。新社名に込められた思いと新戦略について聞いた。

「入社説明会などで、どうしてプラスチックなのかと聞かれる機会が増えていきます」と話すのは、桃井秀幸社長。「プラスチックの語源はギリシャ語で、『自由に形を変えられる』という意味ですが、ここ数年、この言葉のもつイメージが急速に変化し、事業に大きな影響を与えています」。創業時の1950年代、プラスチックは、軽くて丈夫かつ加工しやすい優れた素材として、日本でも多様な工業製品に使用されるようになった。他方で自然にかえらない廃棄物として環境

新しい社名は、社内公募によって決めることになった。そして、経営企画部に寄せられた約50の案から採用されたのが「サンシード」だ。「『サン』は現状のまま。ceed(シ

サンシードに込めた思い

問題が浮上。容器包装リサイクル法などが整備され、さまざまな技術的努力も続くが、近年は海洋プラスチック問題や地球温暖化など世界規模で脱プラスチックの意識が高まっている。同社では長年、衛生面にこだわった安全で高品質、そして環境に配慮したオンラインワンの製品を作り続け、多くの企業から高い信頼を得てきた。しかし、政府と連携して海外進出のプロジェクトを進めるにあたり、「技術が評価されても、社名が弊害になる可能性がある」と指摘されたことが、社名変更の決定打となった。

新社名決定!

サンプラスチックスから

サンシードへ。

名付け親は 新入社員

込められた思いと戦略に迫る

時代の変化を捉える

食品容器などプラスチック製品の製造業界でシェアトップクラスを走るサンプラスチックスは、今年2月、社名を「サンシード」に改めた。1957年の創業以来、65年間掲げてきた社名を、なぜ今、変えたのか。

海外進出を視野に入れ
 時代に合わせた
 ブランディング戦略の二環です。



サンシード代表取締役社長 桃井秀幸さん

1958年大阪生まれ。大阪工業大学工学部卒業。32歳で同社に転職。40歳で義父を継ぎ2代目社長就任。積極的な経営で、町工場から研究開発型企業へと転換。